

患者家族教室  
『病気と上手につきあっていくためのコツ』  
～がんになっても自分らしい過ごし方  
をするためにできること～



病気(がん)になったら・・・

治療や療養はどうなるんだろう？



当然、気になることです！

・・・しっかり考えてがんばろう！

病気(がん)になったら・・・

しかし、人によっては・・・まず、

- ・子どものことをどうしよう
- ・お金をどうしよう
- ・生活のこと、仕事のこと
- ・介護している親のこと
- ・・・など

気になること、大切にしたい優先順位が  
それぞれ異なるかもしれません

病気(がん)になったら・・・

治療や療養を進めていくためにも  
そういったことを患者さん・ご家族・医療者  
間で事前に話し合っていくこと、  
そして、それを続けていく過程が大切です



それは今でもやっていること、そして今まで  
もやってきたことかもしれない  
では、なぜあえて改めて言うのでしょうか？

## 病氣(がん)になったら・・・

それは今でもやっていること、そして今までもやってきたことかもしれません  
では、なぜあえて改めて言うのでしょうか？



でも、きちんと伝えていきますか？  
伝えないと周囲にはわかりません  
そして、体がつらい時などは自分で意思表示  
示ができないこともあります

## 病氣(がん)になったら・・・

でも、きちんと伝えていきますか？  
伝えないと周囲にはわかりません  
そして、体がつらい時などは自分で意思表示  
示ができないこともあります



ですから、調子が良い時などに前もってご自身の気持ちや思いを、大切な方や医療者に伝えること、話し合うことが大切です

## 多様化する医療の中で

現代医療は進歩しています

固形がんに対する分子標的薬療法  
高精度放射線治療  
直腸がんに対する腹腔鏡補助下手術  
肺がん術後の免疫療法

しかし、いくら現代医療が進歩しても限界はあります・・・  
副作用で、逆に生命に関わることもあります・・・

## 多様化する医療の中で

私たち医療者は、さまざまな治療選択を提供します  
そして、ベネフィット(良いこと)とリスク(危険性)を伝え  
推奨する治療選択を提示します

## 多様化する医療の中で

しかし、推奨する治療選択を提示する際に  
私たち医療者が悩むことがあります

それは……

十人十色  
千差万別

十人いれば十人とも、違う価値観を持っている  
あなたらしさは、あなただけのもの  
ということですよ

## 多様化する医療の中で

例えば、  
『あなたは(治療とともに)何を大切にしたいですか?』

(対象:一般市民) (Ann Oncol 2007)

- 医師と話し合っって治療を決めること…………… 95%
- からだに苦痛がないこと…………… 90%
- 望んだ場所で過ごすこと…………… 93%
- どのような状況でもできるだけ長く生きること…42%

100%ではないことに注目してください

## 多様化する医療の中で

例えば、  
『あなたは(治療とともに)何を大切にしたいですか?』

(対象:患者と医師) (JAMA 2000)

	患者	医師
■ 疼痛がないこと	93%	99%
■ 意識が明確であること	92%	65%
■ 誰かの負担にならないこと	89%	58%

医療者と患者さんでは重要と考えることに差があるかもしれない

## 多様化する医療の中で

『十人いれば十人とも違う価値観を持っておられる』  
『医療者と患者さんでは重要と考えることに差があるかもしれない』

↑↓

がんと上手につきあっていくために……  
あなたが治療とともに大切にしてきた  
過去のこと、現在のこと、そして将来のことを

伝えて頂かないと分かりません  
あなたの価値観を基に意思決定支援を行っていきます

## 多様化する医療の中で

がんと診断されると、治療のこと、生活のことなどについて不安になることがあります。患者さんは、よりよい医療を受けたいと考えるでしょう。そして医療者もよりよい医療を提供したいと考えています。しかし、両者の大切にしたいことが一致しないこともあります。

医療は不確実な面があり、先が見えにくい場合があります。あなたの思いが尊重され、自分らしく過ごせるような治療、生活を続けるためには医療者と話し合っておくことが大切です。当センターでは、その実践のためにアドバンス・ケア・プランニングとこのことを取り入れました。

アドバンス・ケア・プランニングとは  
 皆さまの価値観をもとに、今までのことを振り返りつつ、休がつらく、自分で意思表示ができない時に備え、前もってこれからの治療、生活を医療者と共に考え決めていくことです。

### 「繰り返し話し合う」のは…

九州がんセンターでは、皆さまの価値観やこれからの意思を伺いたいと思いますのでお待たせや、お待ちや考えは、その時々の変化に、繰り返し話し合います。

## 動画をみてみましょう

<http://youtu.be/2AsDRuJ0sfg>



## 多様化する医療の中で 分らないことは尋ねる

尋ねるといつでも、何を質問したらよいか分らないということもあると思います。そのために質問例が記載されています。



国立がん研究センターがん対策情報センター

WEBでは下記で検索

【専断な医師にのぞまれる患者さんとご家族へ一問きたいこときちゃんと聞くためにー】

【質問ガイド がんと上手に向き合うために】

## 上手く治療を続けるためのコツ

## 多様化する医療の中で

### あなたの体の変化について伝える

■ **自分の記録をつけて伝えてみる**

例： 毎回の受診内容について

- 年 月 日
- 担当医名
- 受診内容
- わからぬ点・疑問点
- 次回受診日・相談する

気がかりなこと  
病状・治療・生活・身体面・心理面のことなど

- 医師に伝えたいこと
- 医師に聞きたいこと

① ② ③

<http://www.a2-oncology.jp/best/pdf/colormote1.pdf>  
(お手元の資料をみてください！)

## 多様化する医療の中で

### Hope for the best, and prepare for the worst

1. (治療を続ける上で)自分の恐れていること、自分にとって最も大切なことを紙に書き出し優先順位をつける。
2. 変えられること、変えられないことを区別し、前者については方法を探索し、後者については考えない。
3. 小さな、具体的目標を設定し、行動する。一日の中のその時を少しずつ多くする。
4. 生活に方向性を持たせる。どうすれば再発転移が防げるかは、誰にもわからないことだから、「再発転移した時に、何かをしていこう、自分は後悔しないか」という視点から考えてみる。
5. 落ち込みを、あるがままに認める。しかし、日常生活に影響を及ぼすようになつたら、心の専門家に相談する。

がんを生きる長く実践プログラム NHK出版 2006  
(作家 岸本薫子さんのエッセイから)

### 私たちの取り組み(アドバンス・ケア・プランニング)

ACP (Advance Care Planning) に関するポスター。ACPとは何か、なぜ伝える必要があるのか、そして具体的なステップが示されています。

### 私たちの取り組み(アドバンス・ケア・プランニング)

アドバンス・ケア・プランニングのワークシート。患者の希望や価値観を記入するためのフォーマットが示されています。

皆さんが今後のことを考えるきっかけや整理に  
全入院患者に『気持ちの確認用紙』の配布

私たちの取り組み(アドバンス・ケア・プランニング)

患者・家族教室の  
開催(月1回)

次回は  
7月7日(火)  
13:00~13:30

2015年度 患者・家族教室  
アドバンス・ケア・プランニング

開催日	開催時間	開催場所
7月7日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
7月14日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
7月21日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
7月28日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
8月4日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
8月11日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
8月18日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
8月25日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
9月1日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
9月8日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
9月15日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
9月22日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
9月29日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
10月6日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
10月13日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
10月20日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
10月27日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
11月3日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
11月10日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
11月17日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
11月24日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
12月1日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
12月8日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
12月15日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
12月22日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室
12月29日(火)	13:00~13:30	患者・家族教室

開催時間: 13:00~13:30  
開催場所: 患者・家族教室  
お問い合わせ: 03-3526-1111

## 資料3 啓発ポスター

# ACP

Advance  
Care  
Planning

アドバンス・ケア・プランニング

## 伝えてありますか？

自分らしい生活を送るため  
あなたの気持ち・・・



治療とともに  
大切にしていることは  
何ですか？

体がつらい時に  
過ごしたい場所は  
どこですか？

あなたの意思を  
理解している人は  
誰ですか？

調子が良い時に、前もって考え、大切な人に伝えておきましょう。

九州がんセンターでは、アドバンス・ケア・プランニングを通してがん患者さん・家族を支えます。

アドバンス・ケア・プランニング  
(ACP)とは？

皆さまの価値観をもとに、今までのことを振り返りつつ、体がつらく、自分で意思表示ができない時に備え、前もってこれからの治療・生活を医療者と共に考えていくことです。

独立行政法人国立病院機構  
National Hospital Organization Kyushu Cancer Center  
九州がんセンター

〒811-1395 福岡県福岡市南区野多目3丁目1番1号  
お問い合わせ先：相談支援・情報センター(1階)  
電話：092-541-8100(10:00~16:00)

## Advance Care Planning (ACP)

アドバンス・ケア・プランニングとは  
 皆さまの価値観をもとに、今までのことを振り返りつつ、体がつらく、自分で意思表示ができない時に備え、前もってこれからの治療・生活を医療者と共に考えていくことです。

九州がんセンターが  
 アドバンス・ケア・プランニングを  
 推奨している理由

がんと診断されると、治療のこと、生活のことなどについて不安になることがあります。

患者さんは、よりよい医療を受けたいと考えてるでしょう。そして医療者もよりよい医療を提供したいと考えています。しかし、両者の大切にしたいことが一致しないこともあります。

医療は不確実な面があり、先が見えない場合があります。場合によっては、あなたの思いが尊重され、自分らしく過ごせるような治療、生活を続けるためには医療者と話し合っておくことが大切です。

当センターでは、その実践のためにアドバンス・ケア・プランニングという取り組みを取り入れました。

「繰り返し話し合う」のは・・・

九州がんセンターでは、皆さまの価値観やこれからの希望を尊重いたしますのでお気持や考えを医療者へお知らせください。  
 気持ちや考えは、その時々で変化します。  
 繰り返し話し合います。

### 患者さんからの声



#### 話し合いの大切さ

(40代、女性)

病気が見つかった時は、これからどんな治療をしたいのか、どんな風に生活していきたいのか、いろいろいるなことがなかなか決めきれない状況でした。病気としっかり向き合う為にも医療者や自分を支えてくれる人と話し、意思の疎通を図ることはとても大切なことだと思います。



#### 見通しを知ることの大切さ

(40代、男性)

がんと告知されたとき、胸が真っ白になりました。そして治療のことだけでなく、自分の体や心にかかること、生活や家族、会社や社会との関わりの変化について、見通しが知りたいと思いました。あらかじめ知り、周りに伝えておけば回避できた痛みや悩みも、多くあったと思います。



#### 分からないことの連続でした

(60代、女性)

がんになって分らないことの連続でした。新薬やホームペーページなどで、自宅でも点滴ができることや、緩和ケア前後で痛みをとって遊ばせたという体験談が書いてあり、びっくりしました。自分のことなので、日頃から分らないことは尋ね、知っておくことが大切だと思いました。

# 伝えていきますか？

自分らしい生活を送るため  
 あなたの気持ち・・・

# ACP

アドバンス・ケア・プランニング



体がつらい時に  
 過ごしたい場所は  
 どこですか？

治療とともに  
 大切にしていることは  
 何ですか？

あなたの意思を  
 理解している人は  
 誰ですか？

National Hospital Organization Kyushu Cancer Center  
**九州がんセンター**

独立行政法人国立病院機構  
 National Hospital Organization Kyushu Cancer Center  
**九州がんセンター**

〒811-1395 福岡県福岡市東区野多目3丁目1番1号  
 お問い合わせ先：相談支援・情報センター(1階)  
 電話：092-541-0100(10:00~16:00)



## どのような内容を伝えておくと良いか？



## なぜ、がん治療と共に考える必要があるのでしょうか？

人はさまざまな環境や、生活を通して「大切にしていること」「してほしくないこと」など一人ひとりの価値観があります。それは本人にしか分からないことです。がん治療をする中で、体がつらく、自分の考えや思いを上手く医療者に伝えられないこともあります。そのため、今、この機会に、自分が「大切にしていること」「してほしくないこと」など、自分の考えをまとめておきましょう。そして、医療者や自分を変えてくれる人にそのことを伝えておくことが、がん治療を継続していく上でとても大切になります。

気持ちが落ちついてから考えることが大切です。そして体調によって気持ちや考えが変化します。一緒に考えていきましょう。

# 資料 5

# ロールプレイを取り入れた 医療者間コミュニケーション研修会

## 医療者間コミュニケーション・ワークショップの有用性 ～病院あがりの意思決定支援推進プロジェクトの取り組み～



**背景** 多様化する医療の中でがん患者の意思決定をとりまく因子が複雑に絡み合い、医療者は患者との治療についての話し合いの難しさを感じている  
J Clin Oncol. 24: 3490-96, 2006

意思決定支援は、過程が大切であるが  
意思決定支援の難しさの背景に  
医療者間のコミュニケーションのすれ違いが報告されている  
BMJ. 2011 Apr 4;342:d1933  
医療者間のコミュニケーションは意思決定支援をとりまく因子の一つの重要な要素となる  
Crit Care Med. 2006 Nov;34(11 Suppl):S332-40.

多忙な診療の中で  
医療者間のコミュニケーションを円滑に行うことが  
大切である

意思決定支援に関するがん患者の背景についての  
さまざまな報告

- 意思決定に影響する多様な価値観  
Ann Oncol. 2007;18:1090-7.
- 意思決定の際の「心理状態」の影響  
Health Psychol. 2005;24:549-56.
- 進行癌患者の化学療法を継続する理由  
J Clin Oncol. 2006;24:1090-6.
- 進行癌患者の化学療法の認識と実情  
Cancer. 2013;119:854-62.
- 進行癌患者の化学療法に対する期待  
N Engl J Med. 2012; 367: 1616-25.

**目的** 本研究の目的は、医療チーム丸となって意思決定支援を行うにあたって、  
多忙な医療の設定で、医療者間のコミュニケーション・ワークショップを行い  
その有用性を評価することである

### 対象と方法

#### 対象

■単施設のがん専門病院の医療者 74名  
(各診療科・職種、メディカルスタッフから選出、  
偏りのないように配慮した)

#### 研究デザインと設定

■介入  
講義……………『多忙な医療者間連携のためのコミュニケーションのコツ』  
ロールプレイ……………『多忙な診療の疑似設定』  
■有用性の質問紙調査(先行研究及び研究者協議をもとに調査項目を作成)  
『緩和ケアに対する医療者の困難感評価尺度(J Palliat Med2010):医療者間のコミュニケーション』

### 介入

介入(医療者間のコミュニケーションワークショップ)の目的

- 1) 共通の目標を明確にすることで、
- 2) 専門職種がお互いを理解し、支え合いながら、
- 3) 共に困難な患者家族の問題を解決するプロセスを通じて、
- 4) 仕事への誇りと自己成長を可能にすること

### 講義内容

- 医療者間のコミュニケーションを阻害する要因
- (医療者コミュニケーションにおける)医療者自身の心理的反応
- 医療者間のよりよい連携のための  
コミュニケーションのちょっとしたコツ

- 1. 意識が医師・患者に向く
- 2. 互いに相手の考えを理解する
- 3. 互いに自分の考えを伝える
- 4. 互いに相手の考えを尊重し、自分の考えを説明し合う
- 5. Empathy and understanding. 相手の考えや感情を理解し、受け入れる
- 6. 共通の目標を設定し、それを達成するために協力する
- 7. 互いに相手の考えや感情を理解し、受け入れる

### 医療者間のコミュニケーション・ロールプレイ

- 設定  
主役(練習する人)・相手役・観察者
- 課題(多忙な診療の疑似設定)  
1. 忙しい相手と声をかけ、尋ねる  
2. 家族の心配事(対処が難しい事項)を医療者間で共有

ちょっとしたことだけど  
大切な課題

### <ロールプレイタイムスケジュール>

- ①Step1 ロールプレイの説明場面の設定 10分
- ②Step2 課題1 ロールプレイ 20分
- ③Step3 課題2 ロールプレイ 20分
- ④ディスカッション 15分
- ⑤まとめ 5分

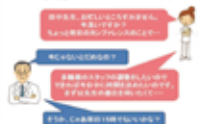
### 練習場面設定

練習場面	設定	課題
練習1	多忙な診療の疑似設定	忙しい相手と声をかけ、尋ねる
練習2	多忙な診療の疑似設定	家族の心配事(対処が難しい事項)を医療者間で共有

### 良いコミュニケーション

1. 挨拶を合わせる
2. 手を離して遠慮する
3. 身体を相手に向けて
4. 傾き・表情
5. はっきりと大きな声で
6. 適切な内容

### 実際のロールプレイ例



【実際に使用したスライド(抜粋)】

### 評価

#### 評価項目

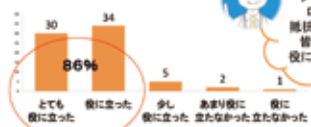
- 主要評価 全体的な有用性 1項目5段階Likert
- 副次評価  
医療者間コミュニケーションの配慮 3項目5段階Likert  
『緩和ケアに対する医療者の困難感評価尺度』  
:医療者間のコミュニケーション J Palliat Med2010 3項目5段階Likert

### 結果

医師24名・看護師43名・メディカルスタッフ7名から  
回答を得た(回収率100%)

#### 主要評価項目

全体的に役に立ちましたか？



ワークショップの  
ロールプレイ  
技法があったけど、  
皆で参加すると  
役に立つと思ったよ

#### 副次評価項目

緩和ケアに対する医療者の困難感評価尺度(J Palliat Med2010)  
(医療者間のコミュニケーションの項目)

- 医療者間で、患者に対する評価方法を立てること 2.4 ⇒ 2.0
- 医療者間で、患者のための一貫した目標を設定すること 2.5 ⇒ 2.0
- 医療者間で、患者に関するコミュニケーションをとること 2.5 ⇒ 1.8
- 医療者間で、多忙な中で場の設定を話し合うことに88%が大変役に立つ・役に立つと感じている
- 医療者間で、互いの認識を理解し、互いの役割を話し合うことに85%が大変役に立つ・役に立つと感じている
- 医療者間で、互いが抱く感情(苦悩)に共感しながら話し合うことに80%が大変役に立つ・役に立つと感じている

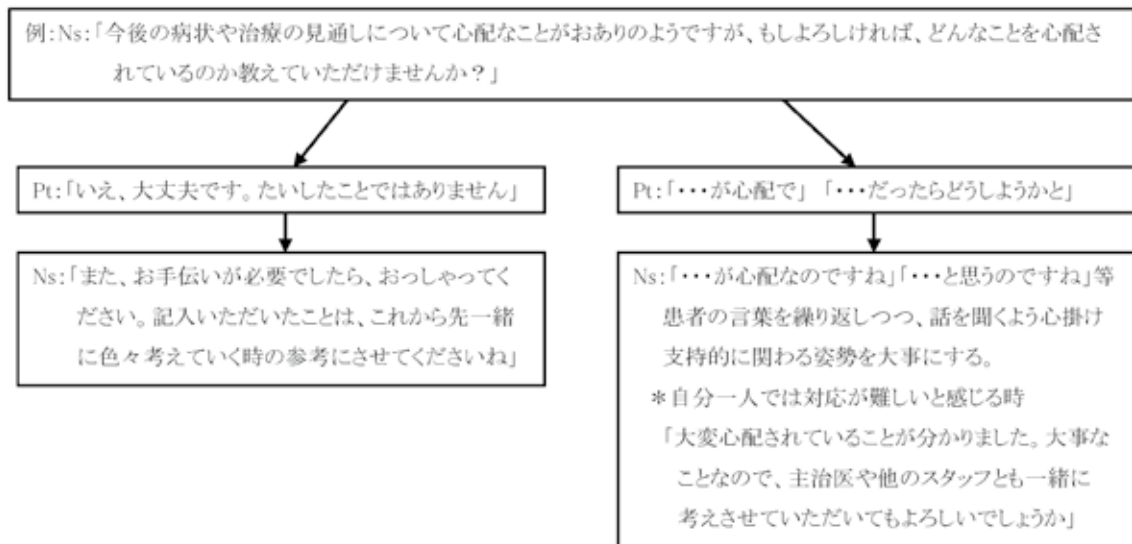
お互い理解しあうって大切

### まとめ

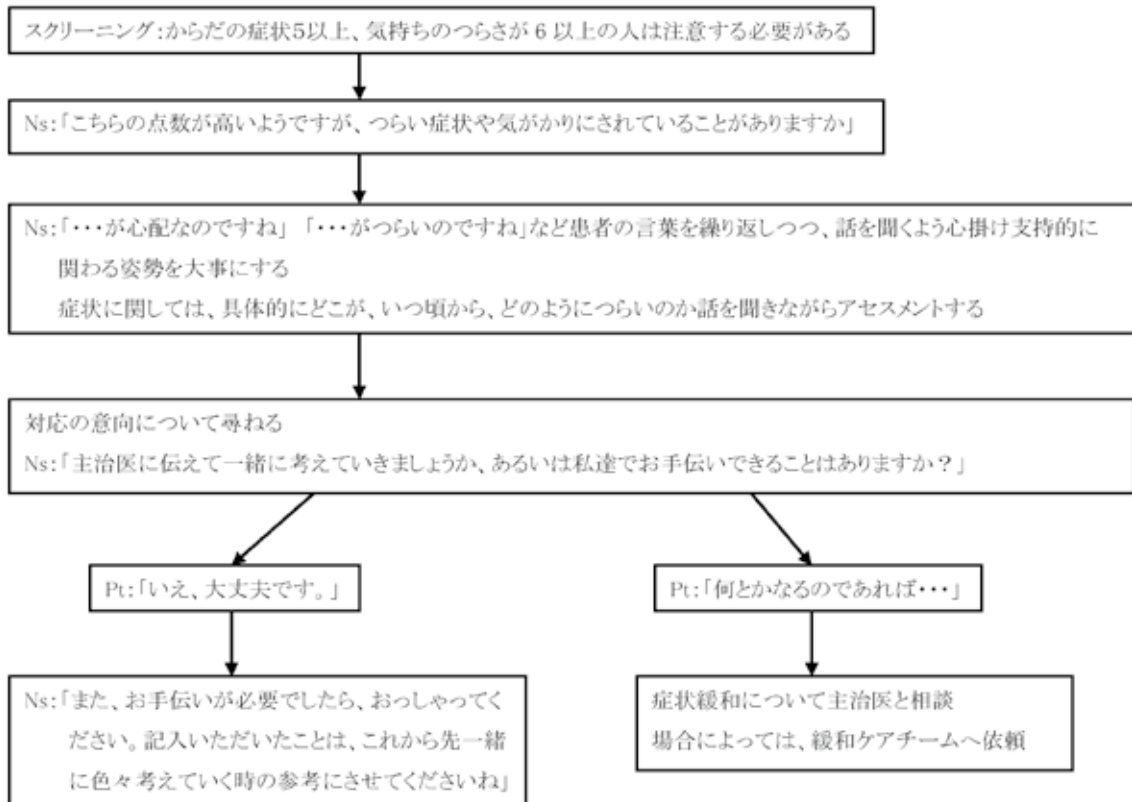
- 86%の参加者が全体的に役に立つと回答した
- 『緩和ケアに対する医療者の困難感評価尺度(J Palliat Med2010)』が介入前後で改善した
- その背景として、多忙な中で場の設定認識や互いの認識や感情(苦悩)の理解の向上が挙げられた
- 医療者間コミュニケーション・ワークショップは有用で意思決定支援推進につながると思われる

## 資料6 意思決定支援に関する質問票 (コミュニケーションマニュアル)

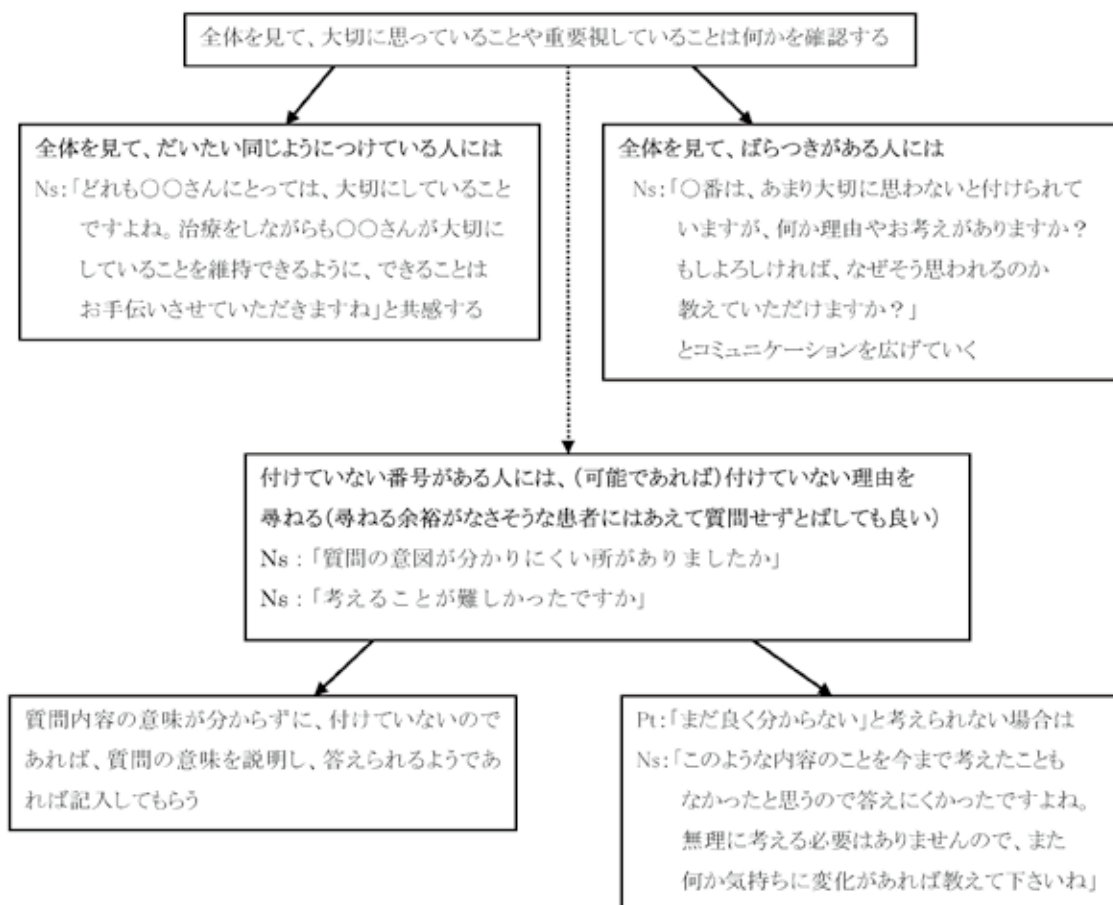
\*1,2 では、患者が現在抱えている気がかりや心配事について尋ね、現在どのような問題を抱えているのかを把握する。



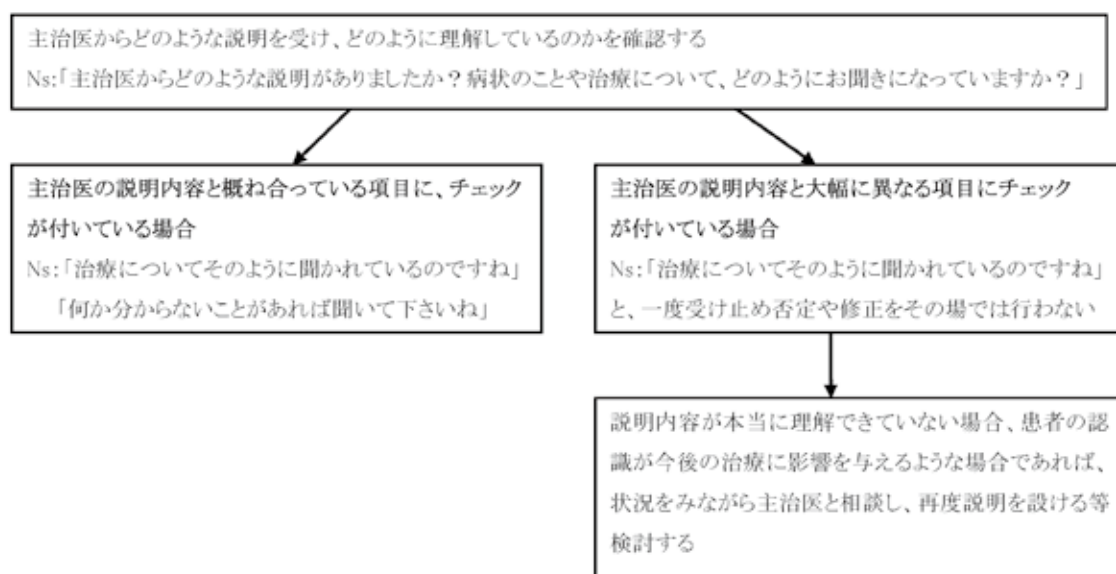
\*3,4 では、現在患者が抱える身体面と精神面のつらさについて把握する



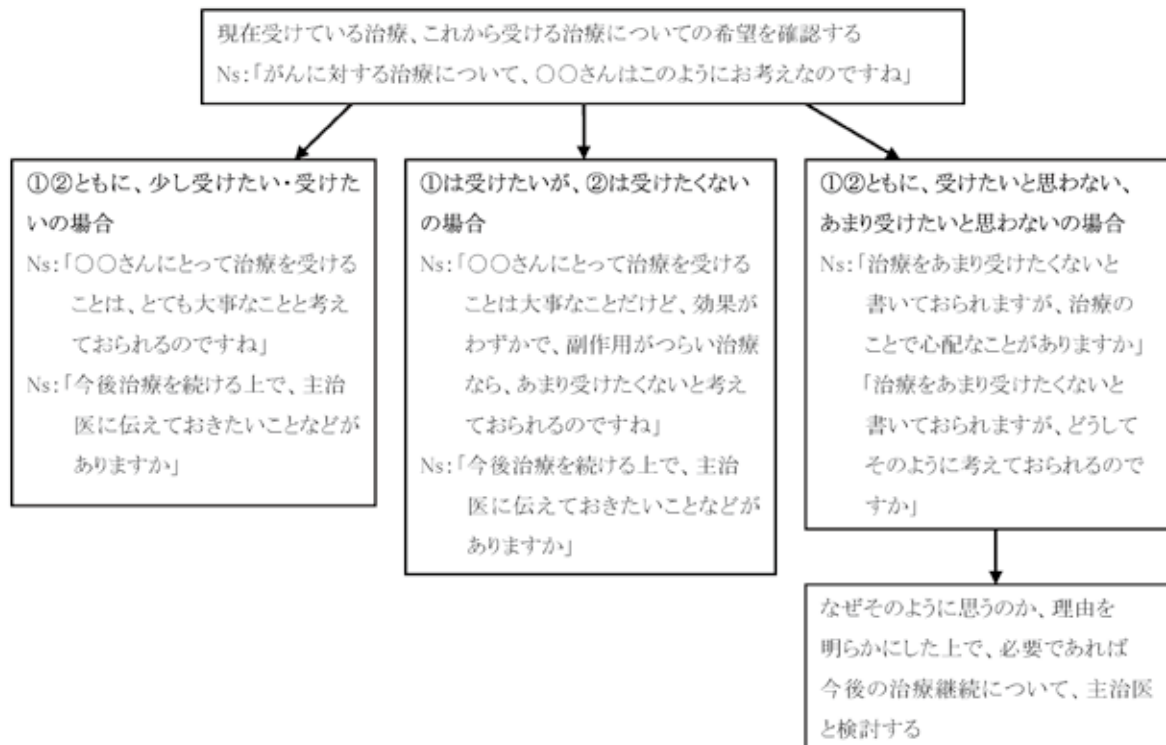
**\*6 では、患者が現時点で大切にしていること、価値観を把握する**



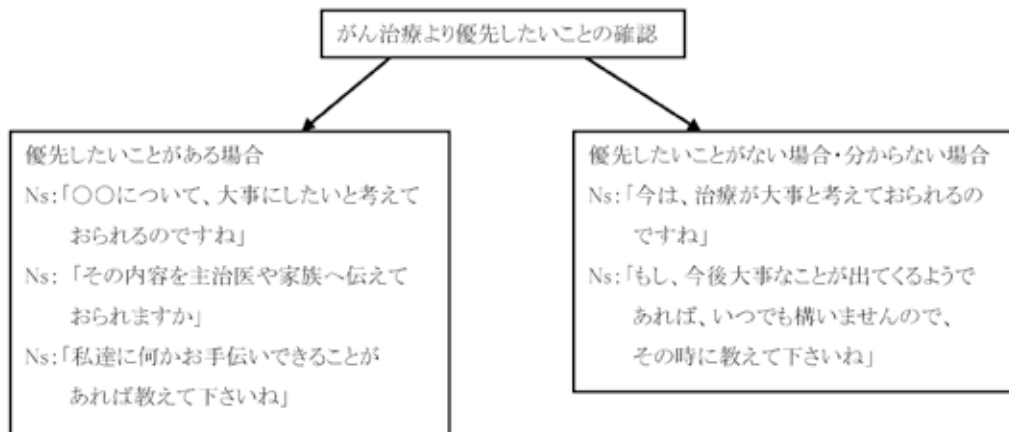
**\*7 では、主治医からの説明に対する理解度や認識を確認し把握する**



\*8では、治療に対する希望を確認し把握する

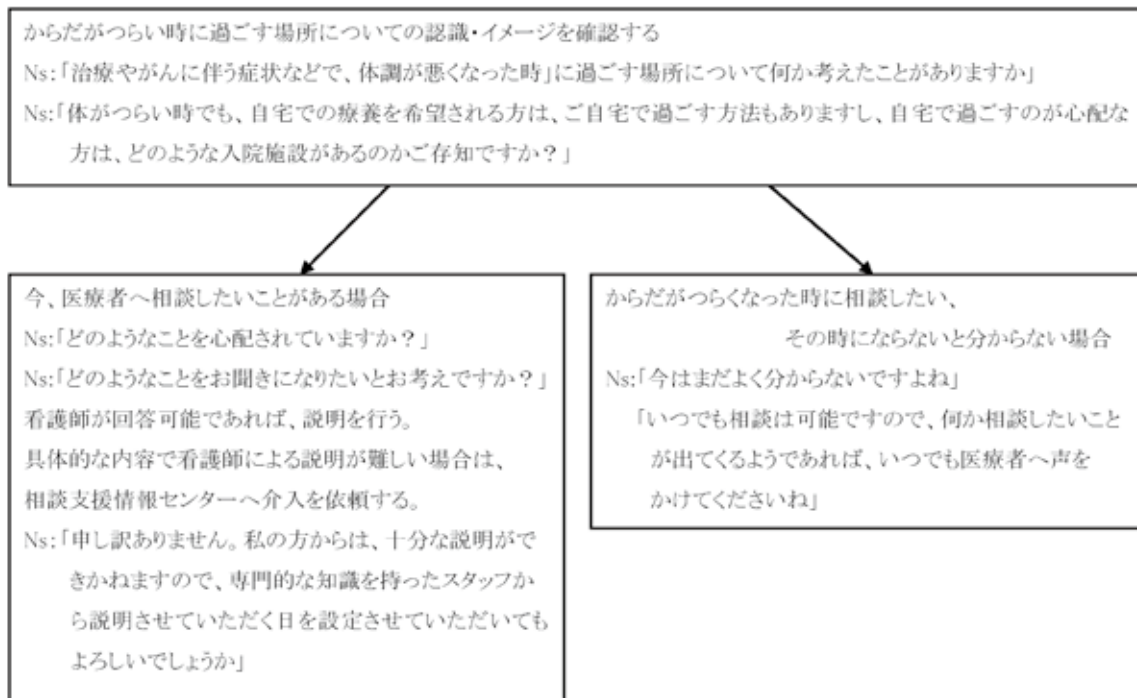


\*9では、患者が最も大切にしていること、生活の中で優先順位が高いものについて把握する

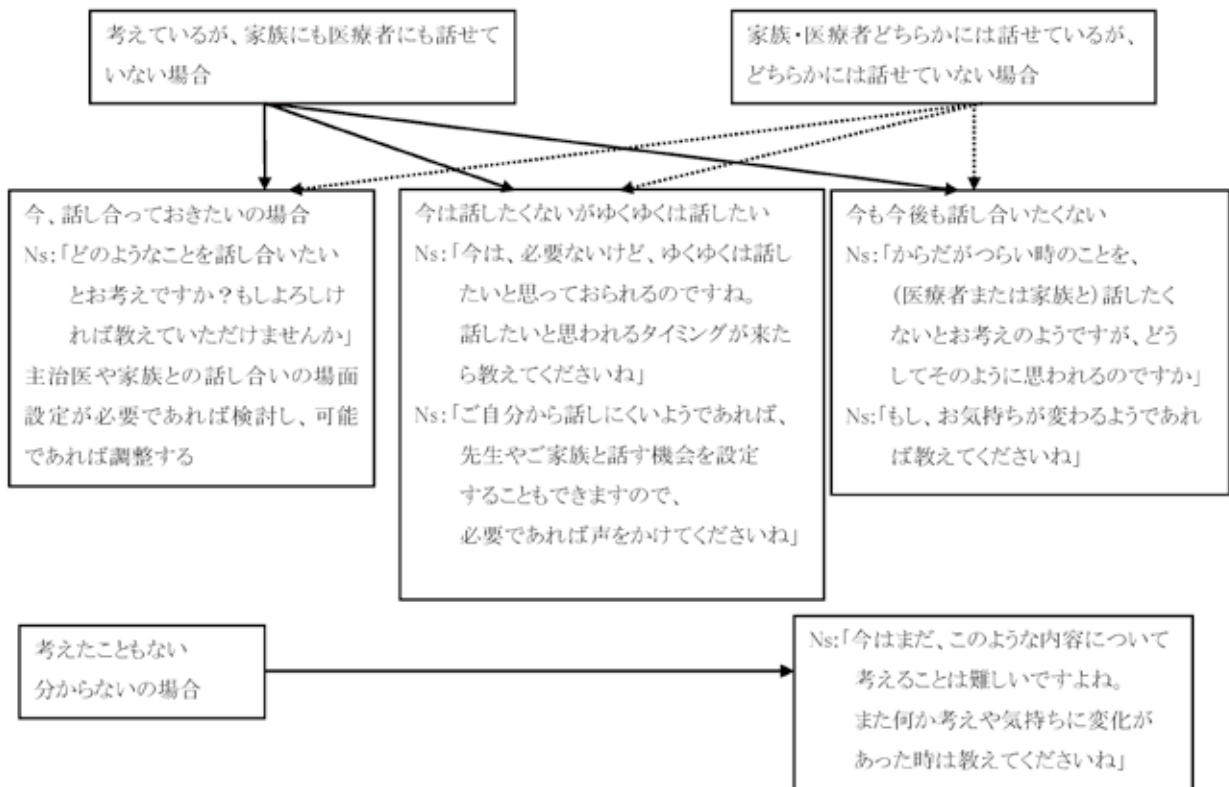


\* 以下の内容は、記入している患者とのみコミュニケーションを図っていく

\* 13 では、からだがつらい時に過ごす場所の認識、相談したいことについて把握する



\* 10,11,12 では、からだがつらい時の治療や医療に関する希望や、医療者と話し合いたいかの希望を把握する




# 資料 7

## 意思決定支援に役立てるための質問票

**意思決定支援に役立てるための  
質問票**

～未回答の部分は埋めなくてよい～  
(質問票の目的はコミュニケーションのきっかけ)



がん診療連携拠点病院の指定要件: 意思決定支援

**背景**

- 医療者は、がん医療の中で意思決定支援の複雑化を感じ、患者との話し合いの難しさを感じています。 J Clin Oncol, 2006
- その背景に、下記などが報告されています。
  - 1、進行がん患者の抗がん剤に対する期待 N Engl J Med, 2012
  - 2、患者家族の防衛機制(否認など) Br J Psychiatry, 1979
  - 3、職種間(専門の違いによる)の認識の違い BMJ, 2011
  - 4、患者家族の価値観の違い Ann Oncol, 2007; JAMA, 2000
- いざ問題となった時に話しあっても互いに混乱してしまい、目標を見失い絶望的になり、また、医療者にとっても負担になります。 Ann Oncol, 2004; Jpn J Clin Oncol, 2011

**ACPとは?**

IV 有 医療者間と家族で共 その意向・価値観を	III 今後の意向の確認 その上で治療選択に ついでに	II 理解の確認 起こりうる可能性の 治療選択で	I 意向の確認 生活上の気がかりや 治療以外における
-----------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

**土台**  
価値感・大切にしていることを知る

今までも行ってきたことを形式化したものです

意思決定支援に役立てるための質問票  
～未回答の部分は埋めなくてよい～  
(質問票の目的はコミュニケーションのきっかけ)

**プロジェクトのゴールは?**

個人個人の価値感を大切にした診療方針を立てるために  
時系列(過去・現在・将来)での  
患者家族の認識、意向の共有と多職種間の連携

どの医療者もこのような視点をもって関わることができる

ACPのキーワード: 価値感・時系列・認識・共有

意思決定支援に役立てるための質問票  
～未回答の部分は埋めなくてよい～  
(質問票の目的はコミュニケーションのきっかけ)

**目的**

- 質問票を記入による
  - 患者自身の今後のことを考えるきっかけや整理
- 治療や生活についての患者の考えを
  - 患者の考えを引き出すコミュニケーションツール
- 患者の
  - 気がかりや治療の認識や希望を医療者間で共有

**質問票の使用手順**

**<初回入院時>**

患者に入院のしおり(問診票)と共に質問票を渡し、自宅で記入して入院時に持参

↓

入院担当看護師がプライバシーに配慮した個室で話を聞く

↓

医療者間で患者の現状と意向を共有する

↓

スキャンして電子カルテに取り込み保存しておく

**<再入院時(再発時、症状緩和治療時)>**

前回入院時に質問票を記入しスキャンしたものがあ

ある → 印刷して保存している質問票を印刷して出し、気持ちの変化が無いかを確認する(入院担当看護師または受付時から看護師)

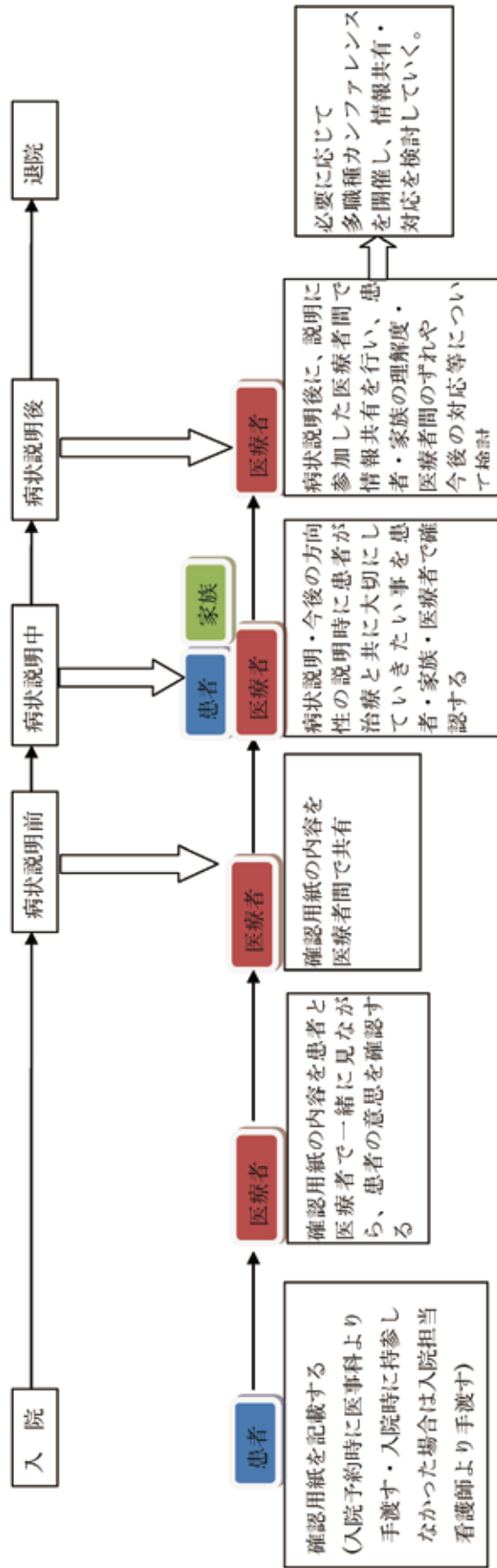
ない → y/hgnhauncherから質問票を印刷し患者に記入してもらった後に話し合い(入院担当看護師または受付時から看護師)

\* 問診票(問診票目的)で繰り返し入院している患者は毎回確認することは不要とする。

\* 初回入院時から数年経ってからの再発・転院時の入院の際は、問診票と同様の扱いとし、質問票も新しく記入してきたものがあれば、それに沿って話を聞く。

# 資料 8

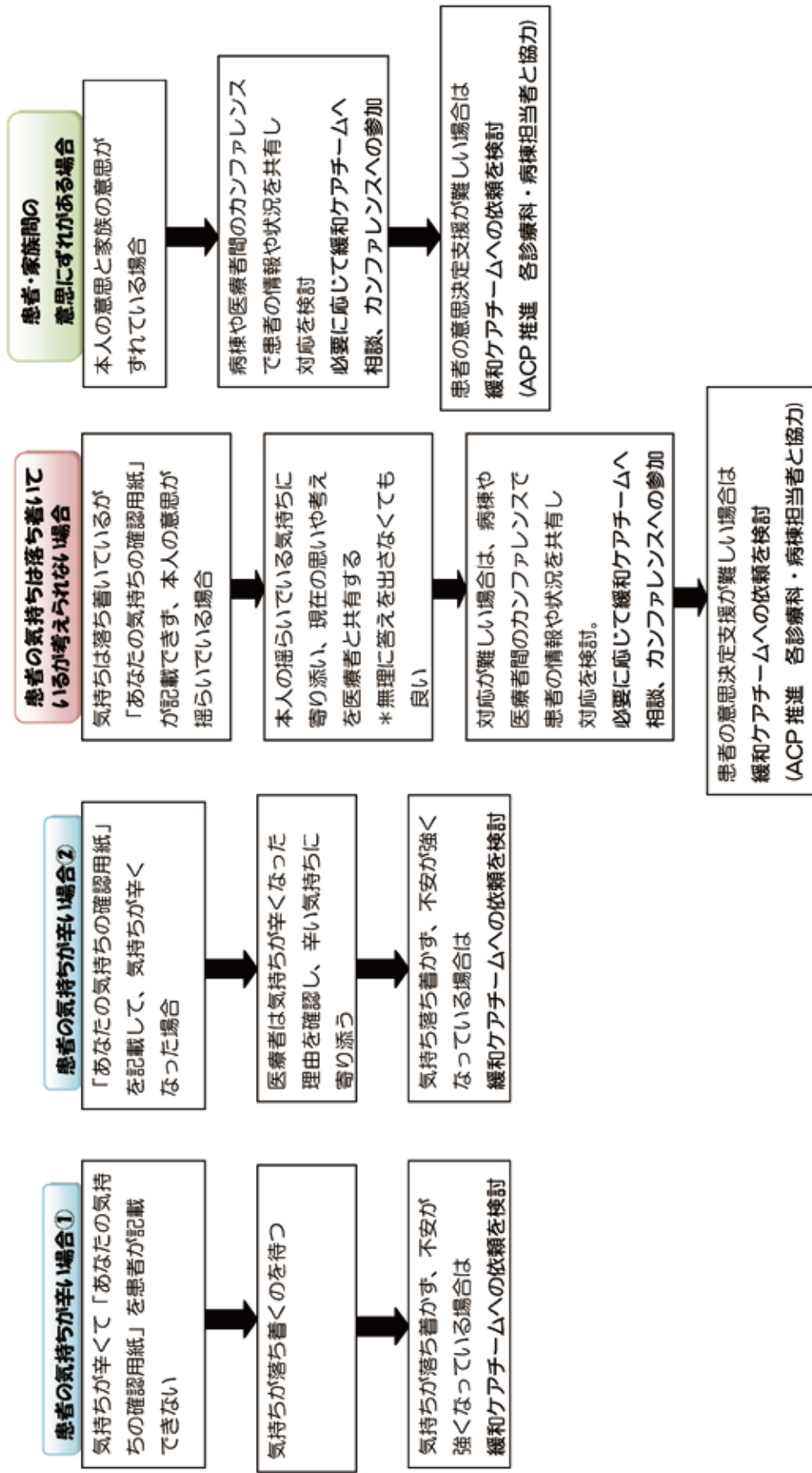
## 意思決定支援 (ACP: アドバンス・ケア・プランニングに 関する) フローチャート





# 資料9

## ACP 推進「あなたの気持ちの確認用紙」患者・家族への対応が困難な場合のフローチャート



## 資料10 ACP（アドバンスケアプランニング）に関する Q & A

Q1：ACP って何ですか？

アドバンスケアプランニングの略語です。  
アドバンスケアプランニングとは、患者さんの意向に沿うケアを実現する為に、事前にこれからの治療・生活を医療者と共に考えていくことです。

Q2：なぜ、この用紙を書かないといけないのですか？

私達医療者は、患者さんの気持ちや大切にしていることを少しでも理解して、患者さんの意向に沿ったケアに繋がりたいと思っています。その為に、この用紙を活用して、患者さんの価値観や、今の気持ちを教えていただきたいと思っています。

Q3：この用紙を書いたら何に役立つのですか？

この用紙を記載していくことで、自分の気持ちや考えを整理する機会になります。また自分が大切にしている事や、治療に対する考えを、医療者やご家族に伝えていただくことで、自分らしい生活を送る手助けになると考えています。

Q4：みんな書いているのですか？私だけ書いているのですか？

「あなたの気持ちの確認用紙」は、入院患者さん全員に配布し記入してもらっています。気持ちや価値観は、その時々で変化しますので、入院する度に繰り返し記入してもらっています。

Q5：今は、頭が真っ白でいろいろなことが考えられません

考えがまとまらない時は無理に答えを出そうとしなくて良いです。「あなたの気持ちの確認用紙」も、未記入のまま提出してもらって構いません。考える余裕が出てきたら、少しずつ気持ちを医療者に伝えてください。

Q6：先々のことは、あまり考えたことがない（考えたくない）のですが、どうしたら良いですか？

先々のことを考えられない、または考えたくない場合は、無理に考えようとする必要はありません。確認用紙の内容も、答えられるところだけ記入していただき、今の自分の気持ちを医療者に伝えてください。

Q7：確認用紙の内容の意味が分からないのですが？

自分自身で記入していただく時は、分かる範囲で記入してきて下さい。質問の内容や意図が分かりにくい場合は、その旨を医療者に伝えてください。質問の意味を説明させていただきますので、一緒に考えていきましょう。

Q8：この用紙に希望を書いたらその通りの治療やケアが受けられますか？

あくまでも、この用紙は患者さんの気持ちや思いを確認するための用紙です。その為、患者さんの希望が全てその通りになるわけではありません。少しでも自分らしい生活ができるように、ご家族も含めて医療者と一緒はどうしていけば良いかをその都度話し合ってください。

Q9：自分の気持ちを家族に伝えないといけないのですか？

自分の気持ちの全てを家族に伝えておかないといけないということはありません。しかし、今回のことをきっかけに、自分の気持ちを家族や大切な人に伝えておくのも良いと思います。がん治療中に自分の身体がきつくて思うように意思が伝えられない時に、ご家族や大切な人があなたの気持ちを代弁してくれることもあります。

Q10：体がきつくて自分では記入できないので、家族に記入してもらっても良いですか？

ご自身での記入が難しい場合は、ご家族やあなたの身の回りのお世話をしてくださる方に、自分の気持ちを伝えていただき、変わりに記入してもらって構いません。どなたも記入してくださる方が居ない場合は、医療者が一緒に確認しながら記入させていただきます。

# 資料11 現場が作成した活用のコツ

患者さん・家族の意志決定支援  
 ～治療とともに大切にしたいことはなんだろう～  
 患者さん・家族・医療者間で統一した認識を。

## あなたの気持ちの確認用紙 ～自分らしい生活を送るために～

記載後、看護師にお渡しください

※この用紙は治療の同意書ではありません。  
 治療やケア・生活のことで気持ちに変化があれば、その都度医療者へお伝えください。

記載日 西暦 年 月 日 記載者氏名 ( 続柄: )

病気になると、治療や生活などについて不安になることがあると思います。  
 この確認用紙を用いて、今後の治療のことや大切なことを考えてみましょう。そして治療のことだけでなく、生活の中で大切にしたいことを私たち医療者にも伝えてください。私たちは、患者の意思を尊重し、自分らしく過ごすためのお手伝いをしたいと思っています。気持ちや考えはその時々で変化しますので、繰り返し話し合っていきましょう。

患者さん・家族と一緒に考えるプロセスを大切にしてくださいね

現在のあなたのことについて教えてください

1. 今後の病気や生活について、気になる事がありますか。当てはまる口に「○」してください。  
 気になる事はない  あまり気にならない  少し気になる  気になる  とても気になる

2. 治療のことや日常生活の中で、気になっていること・心配していることを自由にご記入ください

病気・治療・生活のこと何でもOK!  
 どうして、どのように気がかりか聞いてみよう!!

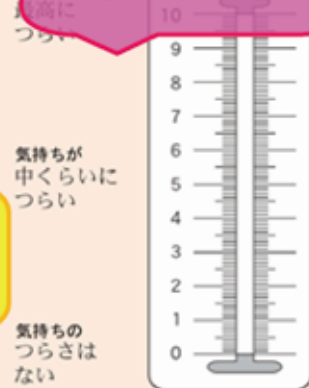
3. からだの症状(痛みや吐き気など)についてお尋ねします

① 現在からだの症状はありますか?  
 症状を具体的にご記入ください。

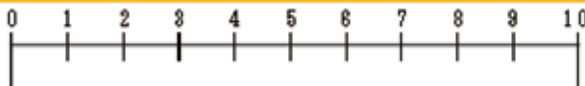
患者さん・家族・医療者間の  
 コミュニケーションツール  
 だよ♪♪♪

4. 気持ちのつらさについてお尋ねします

この期間の気持ちのつらさを平均して、最もつらかったときを教えてください。  
 どんな風に辛いのか、どんなことが辛いのか聞いてみよう。



患者さん・家族に思いを聞いたあとは、十分なフォローを!!  
 聞きっぱなしではなく、継続看護に繋げてください!!



<医療者記入欄>

患者さん・家族の状況に合わせて記載してもらったり、お話を聞いてください。  
 IC前後などの機会を利用したり、後日でもかまいません。  
 その際は、看護指示に「ACP患者用・医療者用未記入」と記載してね。

以下、前回と同様で気持ちに変化はありません。

5. あなたにとって、自分らしく過ごすために、以下のなぜここを聞く必要があるのか？  
 当てはまる口に✓をしてください。各スつらい質問は空欄で構いません。理解できていますか？

1) 医師と話し合って治療を決めること

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  とても大切に思う

それはなぜだろうか？  
聞いてみよう！

2) からだに苦痛を感じないこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  とても大切に思う

3) 自宅や病院など、自分が望む場所で過ごすこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  とても大切に思う

患者さんにとって「自分らしく過ごす」ための希望ってなんだろうか？  
それぞれ違うから聞いてみよう！

4) 希望をもって過ごすこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  とても大切に思う

例えば、どんなことが迷惑と思うのか聞いてみよう

5) 人に迷惑をかけないこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  とても大切に思う

その他、上記以外で、自分らしく過ごすために大切にすることがあれば、自由にご記入ください

記載したり聞くことだけに没頭しないように！！  
流れ作業にならないように！！

6. 医師から治療の目標について、どのような説明を受けましたか？  
 当てはまる口に✓をしてください

- ①まだ治療についての説明を受けていない.....
- ②がんを完全に取り除くこと（がんが完治すること）が目標.....
- ③がんを完全には取り除けないが、がんをできるだけ小さくすることが目標.....
- ④がんを完全には取り除けないが、がんによる症状を和らげることが目標.....
- ⑤よく分からない.....

7. あなたはどのような治療を希望されますか？当てはまる口に✓をしてください

①抗がん治療や手術を

受けたいと思わない  あまり受けたいと思わない  少し受けたいと思う  受けたいと思う  分からない

②標準的ながん治療の継続が難しくなった場合でも、  
 なるべくつらい副作用があっても、がん治療を

継続したいと思わない  あまり継続したいと思わない  少し継続したいと思う  継続したいと思う  分からない

治療に対する思いや意気込みを聞いてみませんか？  
 その背景にある思いはなんだろうか？

8. 今までの生活を維持するために、がん治療と共に、あるいはがん治療より優先したいこと

全てを詳細に記入する必要はありません。  
 患者さんにとって重要な部分だけでもかまいません。

シビアな内容なので、十分に配慮して  
「差し支えなければお聞かせください」  
と説明してね

3 / 3 ページ

- \*\*\*\*\* 以下、あなたに当てはまらない質問や答えづらい質問は、空欄で構いません \*\*\*\*\*
- \* 9. からだがつらい時の医療に関する希望(してほしくない事など)について、あなた自身で考えたり、家族(大切な人)や医療者に伝えたことがありますか？
- \*  家族にも、医療者にもだいたい伝えている  家族には伝えているが医療者には伝えていない
- \*  医療者には伝えているが家族には伝えていない  考えているが家族にも医療者にも伝えていない
- \*  考えたことがない  分からない
- \* 10. からだがつらい時の医療に関する希望(してほしくない事など)について医療者と話し合いたいですか？
- \*  今、話し合っておきたい  今は話し合いたくない
- \*  今も今後も話し合いたくない  説明を受けてから改めて考えたい
- \* 11. からだがつらいなどの理由で自分の意思表示が難しい場合、どなたに(家族等)意思決定を任せたいですか？
- \* (意思決定を任せたい人のお名前: \_\_\_\_\_ 続柄: \_\_\_\_\_ )
- \* 12. からだがつらい時に過ごす場所として、「どのような場所で過ごしたいか」また、その療養場所で「どのようなケアが受けられるのか」などを医療者へ相談したいですか？
- \* 例) 自宅で過ごす時の訪問診療について、緩和ケア施設について、がんセンター以外の病院について
- \*  今、医療者へ相談したいことがある (相談したい内容: \_\_\_\_\_)
- \*  からだがつらなくなった時に相談したい
- \*  その時にならないと分からない
- \*\*\*\*\*

各ステージで捉え方は違います。  
「どのようなイメージ」を持たれているか、  
それはどうしてか聞いてみよう。

本人がどこを望んでいるのか？  
それはなぜだろうか？  
聞いてみよう！

<医療者記入欄>

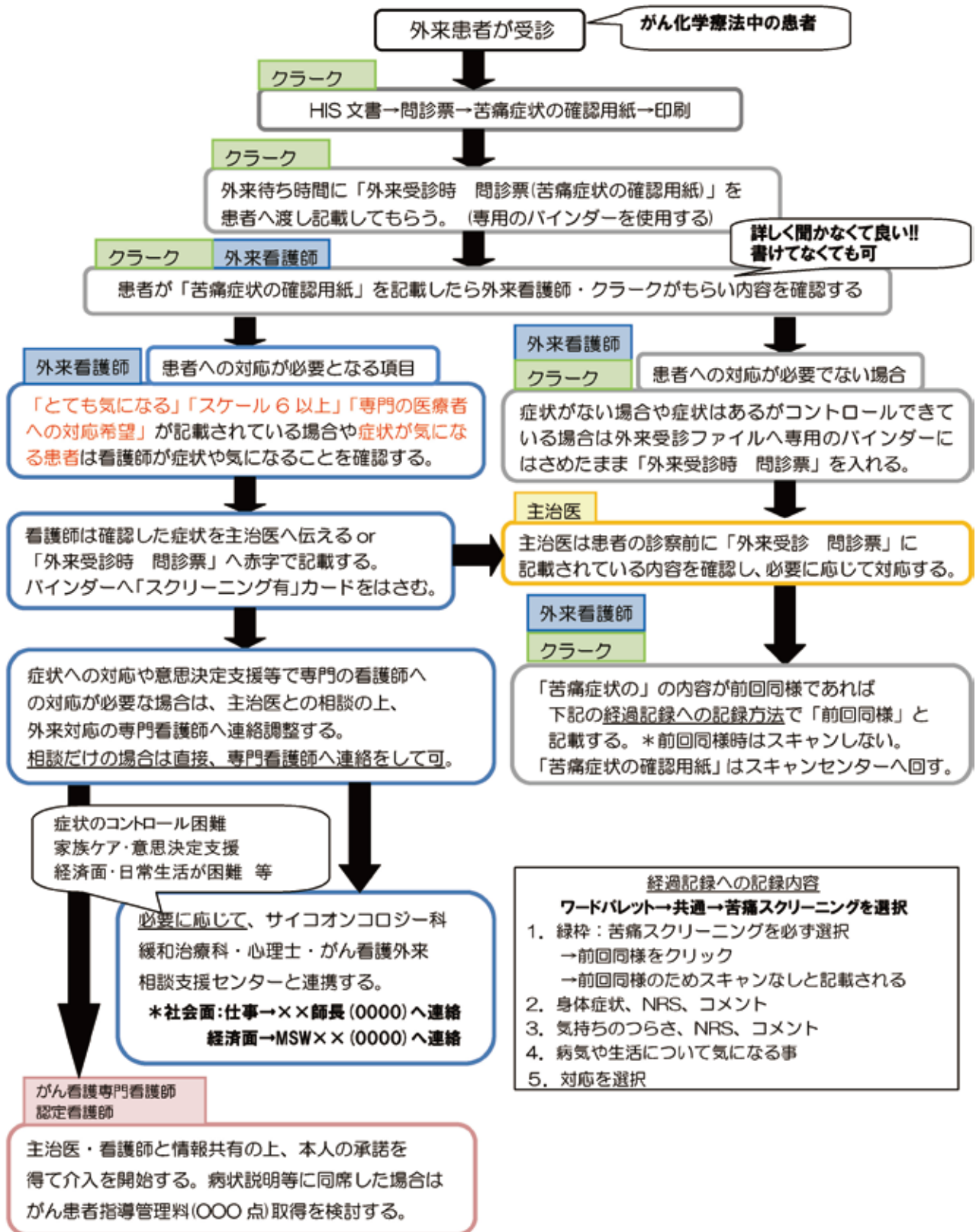
未回答・白紙でも構いません。  
その理由はなぜだろうか？と考えてみましょう。  
最後は「聞かせてもらったことへの感謝の気持ち」と  
「いつでもお聞かせください」と伝えよう！！

慣れないときは自信がないときは、  
ベテランさんと一緒に取り組もう！！  
「コミュニケーションマニュアル」も活用してください♪



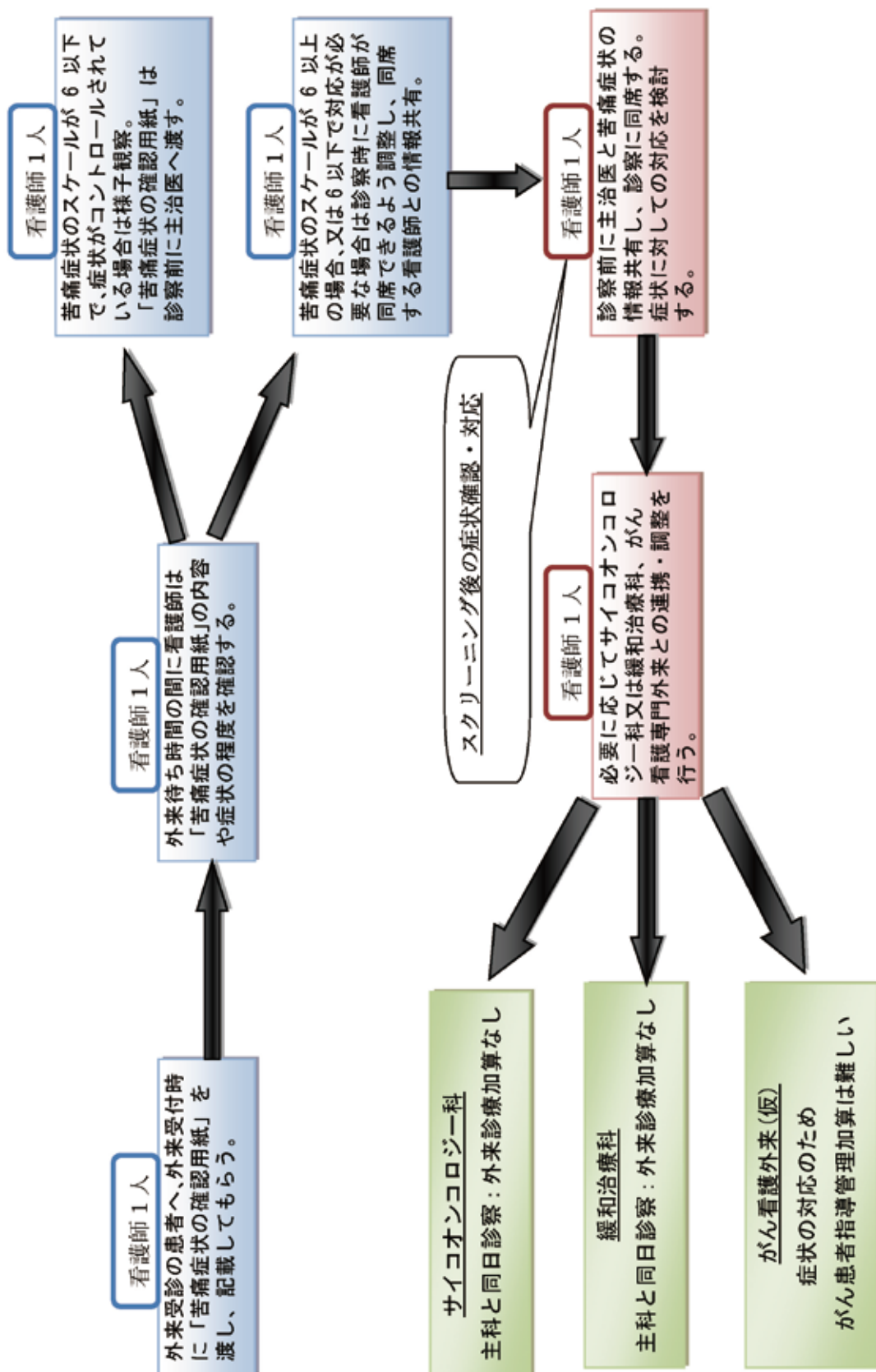
# 資料13 外来・苦痛スクリーニング フローチャート

外来・苦痛スクリーニング フローチャート

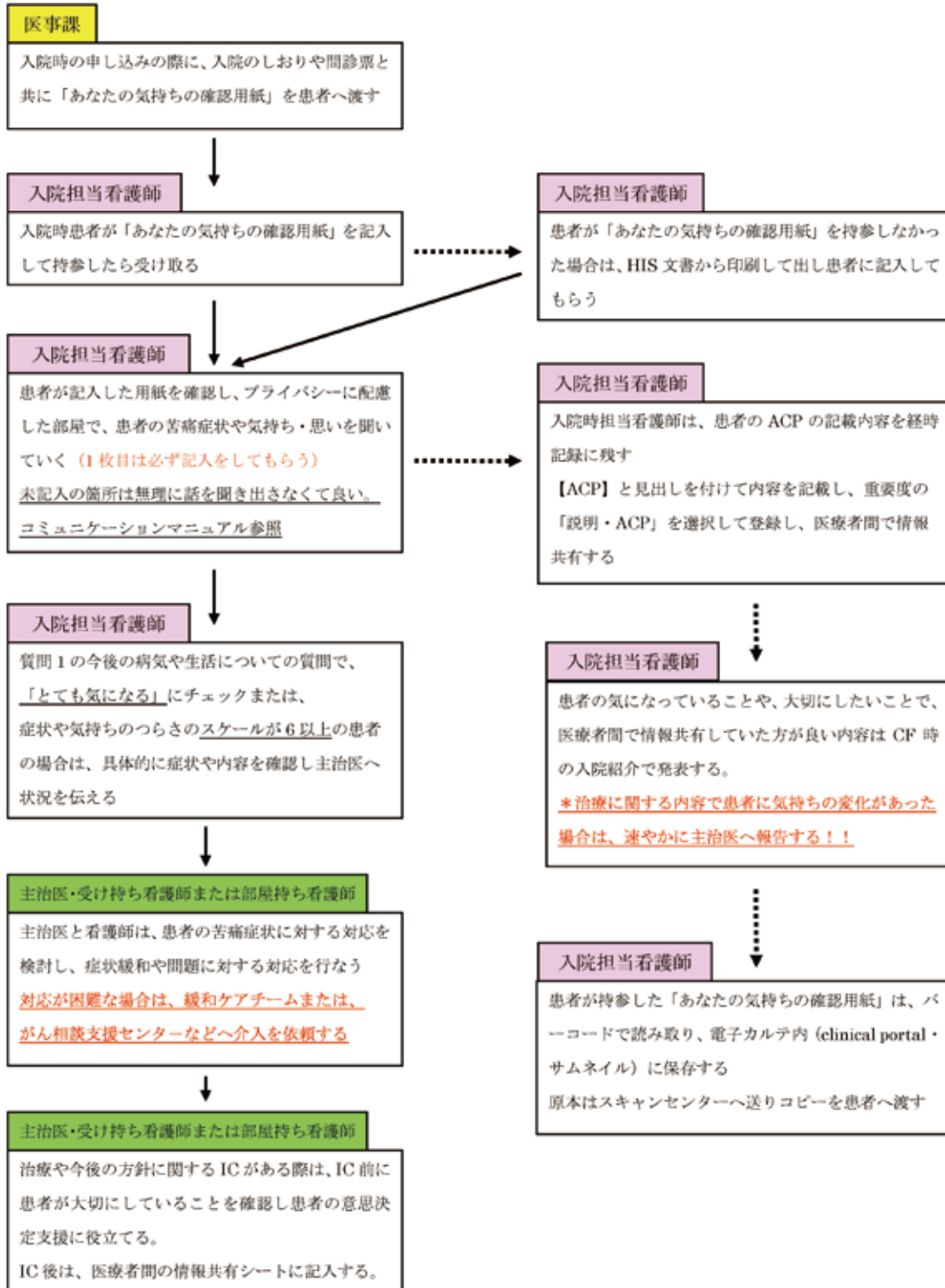




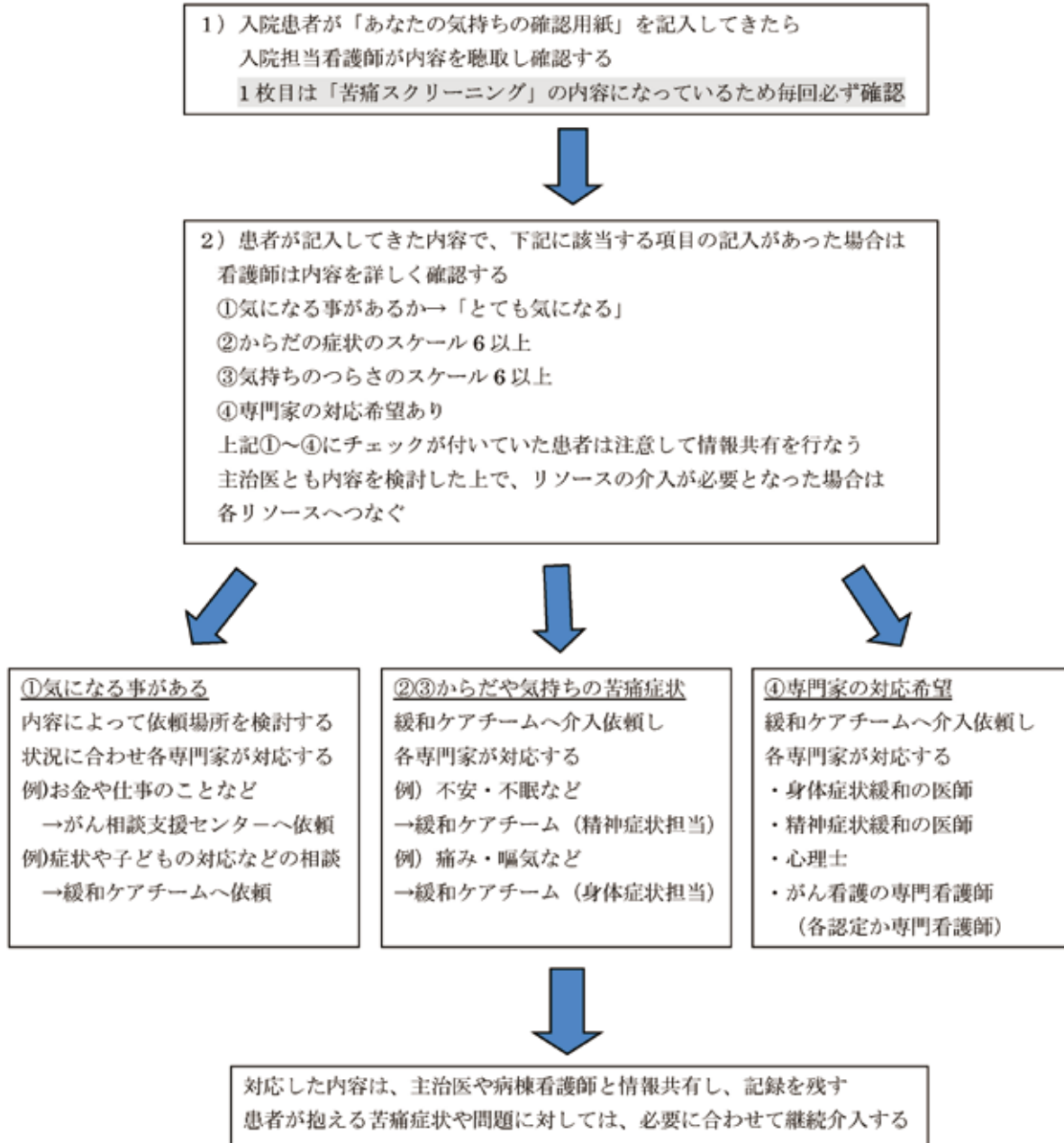
# 資料14 外来での苦痛スクリーニングの徹底フローチャート



# 資料15 「あなたの気持ちの確認用紙」使用手順 (初回入院時・年月が経った再入院時)



# 資料16 『入院：苦痛スクリーニング結果』 対応手順



# 資料17 各現場が付けるスクリーニング結果集計

苦痛スクリーニング結果( 月 日～ 月 日)( )病棟

	患者氏名	とても 気になる	身体のつらさ スケール6以上	身体の つらさ内容	気持ちのつらさ スケール6以上	専門家の 対応希望	緩和ケアチームとの連携
本日の入院患者数( 名)							
(水)	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
本日の入院患者数( 名)							
(木)	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
本日の入院患者数( 名)							
(金)	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
本日の入院患者数( 名)							
(土)	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
本日の入院患者数( 名)							
(日)	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
本日の入院患者数( 名)							
(月)	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
本日の入院患者数( 名)							
(火)	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中
	/		NRS		NRS	有 無	病棟対応 情報共有 新規依頼 チーム介入中